

シジュウカラの子育てでは、雛が小さいうちは、昼も夜も親鳥（母親）が巣箱内に留まって、雛の保温に努めます。しかし、孵化後1週間ほど経つと、雛たちだけで過ごすことになります。

最恐の天敵であるヘビは、その機会をしたたかに狙っています。親のいない間に巣箱口から入り込み、雛を全部丸飲みにしてしまうのです。巣箱口は小さいので、大きなヘビは入れません。過去に巣箱を襲ったヘビは、すべてアオダイショウの子蛇でした。

ヘビの襲来は夜間が多いので、夜間は布テープで巣箱口を塞ぐのも一つの方法です。しかし東京からはできないので、遠隔操作で巣箱口を開閉する装置を取り付けてあります。「装置」といっても、100Vで駆動する低速交流モーター（30秒で1回転）と、遠隔のリレースイッチを接続しただけの簡単なものです。

1年ぶりに使うので、北軽井沢の装置の作動テストを東京からしてみました。今回の動画はその様子です。

